

時事新報定價
時事新報は毎號八面乃至十二面にして詳細なる商況物價の報告あり其代價は左の如し

時事新報定價 (海外送達には此他後に)
一號 貳圓五匁〇一箇月 前金五拾圓〇三箇月 前金壹圓四拾五匁〇六箇月 前金貳圓八拾五匁〇一箇年 前金五圓六拾圓〇月曜日休刊(此他大祭祝日年始年未等一切休刊セズ)

時事新報送送料
一 日本國內並に朝鮮京城、仁川、釜山、元山、山津、南亞米利加、中央亞米利加、米國若くは加奈陀を経て郵送する諸國各圖
一箇月 金六拾圓
三 北米合衆國、英領加奈陀、布哇諸國
一箇月 金三拾圓
四 香港を以て郵送する亞細亞諸國、太平洋諸國、澳洲
一箇月 金六拾五匁
五 露國、滿洲、南洋、南洋群島
一箇月 金三拾五匁

時事新報廣告料(前金)
一行五箇字 一日 一圓
一行五箇字 二日 一圓二角
一行五箇字 三日 一圓五角
一行五箇字 四日 一圓八角
一行五箇字 五日 二圓
一行五箇字 六日 二圓二角
一行五箇字 七日 二圓五角
一行五箇字 八日 二圓八角
一行五箇字 九日 三圓
一行五箇字 十日 三圓二角
一行五箇字 十一日 三圓五角
一行五箇字 十二日 三圓八角
一行五箇字 十三日 四圓
一行五箇字 十四日 四圓二角
一行五箇字 十五日 四圓五角

本社(寄稿)の付
東京府下を始め各府縣に通信社なるものありて是より各新聞社に報道を委託し各新聞社は之を受けて紙面を填寫するより各社同一の記事を掲げること寡からず獨り時事新報社は社員並に通信員を多きこと新報の社に通信を依頼せずと雖も世間往々此事を知らずして通信社に之を頼みしるに本報に其報道は速する事と信する方多きが如し爲めに行違ひを生じたる場合も寡からざれば本報に記事論説を寄稿せんとする方は直接に本社に之を寄稿せらるるものとす

時事新報社に連したる投書の原稿は凡て寄稿者に返戻せず又本社に保存せず

議員人撰の標準
衆議院解散の理由は條約履行の障礙したるが故なりと政府の當局者も既に明白にして疑を容れざる所なれば今度の選挙には開國論者を選びか鎖國論者を選びか是れ即ち議員人撰の標準なりとてこれの理由を付して之を選挙人に訴ふるものゝ如し直接の事情に就て見れば如何にも相違なき様なれども開國と鎖國とは元來今の時勢に當て政府を二分する程の距離にあらざるは事實の懸絶の甚き所なれば廣くして論ずる可らざるは勿論なれども憲法改正の花、その後早くも既に凋落して根幹亦ども腐朽せんとせしに明治の小春日和に又もや狂ひ咲を催はしたる次第なれば人あり之を培養せんとするも到底その甲斐ある可らず不日にして萎んでいふと期して俟つ可ければ我輩は暫く之を度外にして更に一步を進め新く開國論者の政界に跋渉する所以は其開國の深き世に備ふるべきが故にのみならず其主權の不可なるは他までも承知

時事新報
しなから時に取ての武器なれど一時の計略の爲めに之を利用したる意味もある可ければ罪は事急無謀にありて守備固にあらざる或は起す可きに似たりたれども政界一新の目的を以てするときは其計略たるも本心たるに論なく直ちに其急無謀を咎めざる可らず即ち急激なる議員を出すは今日の我國會に適當なるや否や選挙人の一考を要するは此點ならんと思ふ者なり

今の政界は民黨にあらざれば以て人望を博す可らず自由、改進黨、國民、同盟等黨派の數は種々あれども何れも民黨を以て自から稱せざるはなく苟も現政府を支持せんと云ふ者あれば有らざる惡口罵詈を以て駭斥せらるゝと共政府に反抗するもまた急激なれば隨てます(一) 候補せらるゝの有様にして彼の國論の如きすら政府を苦しむる手段なりと云へば多少の暴言も自から世間に許さるゝが如き其一斑を推知す可し是れ皆明治政府多年の失敗よりして官民不調和の結果なれば勢の爰に至る亦止むを得ざる所ならん歎なれども此中間に立て公平着實の觀察を下だすときは一方には政府をして其非を改めしめ一方には民黨をして極端に走るを慎ましむるの外ある可らず政府は曰く民黨は極端に走り民黨は曰く政府は非を改めずとて認めざる衝突の起るは雙方の(一) 理ありと雖も我輩とては漫に老成を装ふて中裁の一事に拘泥するにあらざる今單に一方の民黨に就て云はんは政府が飽までも維新の功勞を謝して第二の專府を以て自から居り絶えて人民に參政の權を與ふるもとなく衆議院を極めたらんには之が願望を固より其所なれども兎も角も寛大なる憲法を制定して今まさに立憲政治創業の際なり世界各國の例として專制より立憲に移るには必ず多少の犠牲を演じて歴史を汚すの常なれども特り我國は今日まで左る不祥のみもなく美事に經過し來りたるのみならず今後とも漸進を旨として國會の如き當分は手習稽古と觀念して決して多を望む可らずと我輩の風を唱道したる所にして此一事は官となく民となく舉國同心にして善す可き善のものなれば政府が非を改むるに難ざざる所ありとて直ちに斧斤を根底に加へんとするは頗る性急の沙汰と云はざるを得ず否、取て代る可き民黨とて其足並未だ整はずして無理に取て代るも容易に其政府を見る可らざるや申す迄もなし所謂立憲の過渡を濟するに慎重を要するもと果して此の如しとすれば徒に急激の改革を喜ぶは政府を苦しむるに非ずして却て憲法の進行を紊るのみなる可し況んや條約的議論の如きものを以て攻撃の武器となすに於てをや唯如何せん政治家の特質として人氣に投ずるを是れ勉め天の風潮政府に備はたらざるを見れば更に一層過激の議論を唱へ其論調いよ／＼下りて底止する所を知らざるに引換へ有識者實の人は共に伍を爲すを愧ぢて次第に之を思慮するに至る近來の形況は著しく此點を現はし地方にて上流の士人は儼然、被擯を避るの情實ありと云ふもなれば新議員には或は人物の下落を見るもどならんかと恚に憂慮に堪へず將來の成行想ひ見るに餘りあるもにして皆是れ政治の大難に通ぜざるの過なれば選挙人諸氏は目前の事情に迷はざれずして先く議院を定め彼の急激無謀を避けて要は當局者をして憲法を改革するの人物を擧げんと我輩の敢て断る所なり蓋し右の立言たる時好に反するのみか政府の爲め

に利益を授くるも同様なれば民黨論者は勿論人氣迎合に汲々たる政治家輩に在ては心に之を是認しなから口に之を發する能はず又俗に所謂御用論者の一類にては之を言ふも眞實ならず我輩の敢て一言する所以なり

雜報

山陰道の機關新聞 山陰道に於ける自由黨の機關新聞は鳥取市の因伯日報あるのみ改進黨には松江市の山陰新聞、鳥取市の鳥取新聞あり國民協會には松江市の松江日報あり互に自黨の勢力を助長し來りしが今度伯耆の米子町に米子米棉取引所の機關として米子毎日新聞を發刊するもとなりたり初刊は去る十五日發行する筈なり其手筈に間に合はず尤も同新聞は表面に取引所の機關とあれども其實自由黨の機關にして支社を鳥取、倉吉、松江等に設け總編輯に就て同黨候補者の運動を助くる見込みなりと云ふ

岡山縣花産業組合會 は去る十三日協議の末同業の近時大に不景氣を來したる爲め來る二月六日より休業するも等を議決したりと

毛織物の商況 昨年暮より本年今日に至るまで諸商品の賣行餘り多しからざる中にも毛織物商は最も不景氣にして品物捌けず益す下落の模様なるが故中毛布、肩掛、膝掛、及びフランネル類は殊に不捌けにして品物捌けず肩掛も一時流行の際には高直を保ち居りたれども當時流行に追はれ一年婦人にして肩掛せざれば婦人に非ざるかの如きまでに至り其影響は地方へ及ばし從つて品物地方へ向きたる事も少しかりしが現今は一寸流行も止まり然のみならず府下大井村にて毛布肩掛及膝掛類も盛んに製造し舶來物を凌ぐ位なれば品物山なるも賣捌けず膝掛も同じく買入少なくなつて追々下落の一方、フランネル 舶來物の中國乙物は少々下落し内國紀州の如きに至りては從來の製造品の賣りもの多きに賣行宜しからざれば減切下落し爲めに本國製造所の中には産産者も少なからずとの事なり只毛織物生地用毛織子ののみは非常なる騰貴にて下物は八分、中物一割、上等品に至りては殆んど一割五分方の騰貴なりと云ふ

南洋貿易船 一月四日帆船渡川丸の出帆を始めとし其後續々南洋に向ふ帆船あり今日迄都合五艘にて内外國船二艘内國船三艘なりと

上海商況 (二月十一日)
棉花 續綿の氣配は寧ろ不振の有様にて隨て取引とて至極抑々しからざるのみならず當地は最早舊年末に止まり思切て買入をなすものなき上に本邦市場に於ても引續き氣配不味にて相場も大に下直云々の報道ありし故昨今の真は一般買入の姿にて眼見しき取引とては皆無の有様にて内實大に弱味を帯たるにも拘はらず英商等にて内々手を廻はし割安物買入に着手せしより一旦不振の商況もみれがため多少小堅の有様を顯はしたる先には本邦市場が最氣立たるなりとの報道ありしと同時に前約定口受渡のため市場品がすりととなりし等、氣配は一層強味となり昨今の處にては相場に拘はらず買入因分困難の有様を呈し尙續續によりては此上多少騰貴すべき商況となれり本選手合高は横濱及神戸向共三千五百包餘に達したり通州手繰器機織は其後相替はらず日本商清商に於て勇々買入に着手

し可なりの取引出來せるたなり尤も本週は神戸向にて三綿は相替はらず活版の有様のため相場は益す上進の唱へ出題はより更に一層の減荷者に於て益す買入の模様にて強氣を唱へ居れり

見布 は氣配上弱味を顯はし最早天津地方の航海も終り内地需用者に於ても只買入に着手せるものも荷動き至極不活版にて面台ははしたり

海産 其後霜や氣配を弱つたりの直段にて夫々賣買出本白き取引出來せるため相場は荷至極僅少なるゆへ多分ため尚ほ多少の騰貴を見する英船は新白玉糖四萬噸擴に入津する由なるが故に品質も良好なりと云ふ

陶器居振り 本品は尤も氣味なるに引換へて段は居振りの姿なるが今月の仕込みとして出京動せんかなれども目先騰落に趨くとの事なり

埼玉商工會 同會春期大會を開くよし

二十六年中の火災 前筋に於て取調べられたる原因は燒失の戸數八百十戸消止四百二十二戸又出二十一萬灰取灰九十四万十五萬灰十五万なりと

吾輩の十六羅漢 の聞えたる吾輩の十六羅漢第一には漢地利國總督府フレーム、ペレイラ、ゲヤントンに於て死せしが財千八百二年死)

第二はダニエル、マンチー生同九十四年死)にしてしが是亦彼に劣らぬ者なり

第三、櫻又次に控へた身代は、タ、タに所持し一軒の小屋に住居し之に